

ちょっと一言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、
行方市に寄せる思いをイン
タビューしました。



●麻生中学校の統合から1年が経ちますが、まだまだ整備されていない、電灯もない通学路に、とても危険を感じます。

統合については、計画的に何年もかけて話し合われ、決定されたのだと思いますが、子供達の安全が第一ではないでしょうか。

市内の小中学校の統合が進むなか、親が安心して子供を送り出せるように、通学路の整備は早急に対処して頂きたいと思えます。

(40代・女性)

●私達の世代にとって、インターネットは必要不可欠といっても過言ではありません。時々、行方市の特産品や施設・店舗を紹介する記事を目にします。地元だからこそ気付けない点に驚く事も少なくありません。

休日ともなると市外に出かけてしまいがちですが、一歩立ち止まり、行方市の良さを自分の肌で感じて、友人・知人に教えていきたいです。

そのために、老若男女が世代を超えて温かな行方市を作っていく一市民になりたいです。

(30代・女性)

ると落ち着いた曲調が、心地よく感じられます。

まだ耳になじむという訳にはいきませんが、市民の歌として受け入れられるのも、そう遠くはないでしょう。

個人的には、季節ごと違った曲を使うのも一興ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

(50代・男性)

●私は行方市議会を何度か傍聴した経験があります。市議会選挙直後は後援会の支援者が応援傍聴にきて満席になるほどのにぎわいですが、その後は空席がほとんどで寂しい市議会です。

市民の無関心が第一要因、議会のPR不足も考えられます。具体的内容(生活道路問題・学校のいじめ問題等)のアナウンス、また、質問議員が固定されマンネリ化しています。議員は市民の為に学習し、市民も議会に注目するように議会事務局の方の活躍も期待します。

(70代・男性)



編集後記

新年度がスタートし、1カ月が経ちました。

新たなスタートを送るにあたり、この時期、転入転出された方で行方市の人口は社会増減が一番大きくなります。

行方市は、依然として人口の減少傾向の一途を辿り、市内には空き家が見られるようになりました。たとえ住まなくても、家は大事な財産であり、一概に「空き家」として問題化するのには難しいと思いますが、適切に管理されず放置されている場合は、防犯や生活環境面で様々な懸念があります。

少子高齢化により、今後も空き家が増加することを考えると、有効活用や地域で守っていくネットワークづくりを考えなければなりません。

今号では、平成25年度の予算審議を中心に掲載しています。予算に基づき各種事業が適正に執行されているかを、私たちの議論を通して市民の皆様にお伝えし、市政に積極的に参画していただけるよう努めていきます。いよいよ6月は定例会です。多くの皆様の傍聴をお待ちしています。(大原功坪)

広報委員会

委員長 高橋正信
副委員長 栗原 繁

委員 大原功坪 小林 久
鈴木 裕 鈴木周也